

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 3 月 5 日 (2015.3.5)

【公表番号】特表 2014-511990 (P2014-511990A)  
 【公表日】平成 26 年 5 月 19 日 (2014.5.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2014-026  
 【出願番号】特願 2014-505572 (P2014-505572)  
 【国際特許分類】

**F 2 5 D 23/02 (2006.01)**

【F I】

F 2 5 D 23/02 3 0 1 E

F 2 5 D 23/02 3 0 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 15 日 (2015.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

冷蔵庫側に固定可能であり、締め付けねじ (9) 用の貫通孔 (8) を有するねじ式フランジ (7) を有するヒンジアーム (6) を有するヒンジ (5) と、  
 ねじ式フランジ (7) の貫通孔 (8) を通るとともに家具本体 (2) の側壁 (2 a) にねじ込まれることが可能である 2 つの締め付けねじ (9) と、  
 必要に応じてねじ式フランジ (7) と側壁 (2 a) との間に挿入可能である少なくとも 1 つの壁厚補正プレート (11) とを備える、  
 家具本体 (2) の側壁 (2 a) へのビルトイン冷蔵庫 (3) 用の固定アセンブリにおいて、  
 前記ねじ式フランジ (7) に差し込み可能であるプラスチック製のカバーキャップ (10) に前記締め付けねじ (9) が予め設置されていることを特徴とする  
 固定アセンブリ。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの壁厚補正プレート (11) が、フィルムヒンジ (12) 等を介して一体的に前記カバーキャップ (10) に成形されていることを特徴とする  
 請求項 1 に記載の固定アセンブリ。

【請求項 3】

前記ねじ式フランジ (7) の孔 (14) に留められることが可能であるキャッチピン (13) が前記壁厚補正プレート (11) に設けられていることを特徴とする  
 請求項 1 または 2 に記載の固定アセンブリ。

【請求項 4】

前記締め付けねじ (9) に皿頭 (10) が設けられており、これが直接前記ねじ式フランジ (7) の前記貫通孔 (8) の縁部に押されることが可能であり、その一方で前記カバーキャップ (10) の貫通領域を変形させることを特徴とする  
 請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の固定アセンブリ。

【請求項 5】

前記壁厚補正プレート (11) の厚さが好適には 5 mm 未満であることを特徴とする  
請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の固定アセンブリ。

**【請求項 6】**

前記締め付けねじ（ 9 ）が前記カバーキャップ（ 10 ）の貫通領域に摩擦係合的に予め設置されていることを特徴とする

請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の固定アセンブリ。

**【請求項 7】**

前記フィルムヒンジ（ 12 ）を介して前記カバーキャップ（ 10 ）に成形されている前記壁厚補正プレート（ 11 ）にフィルムヒンジを介してさらに壁厚補正プレート（ 11 ）が一体的に成形されており、そのさらなる補正プレートが必要に応じて前記キャッチピン（ 13 ）の反対側で前記第 1 の壁厚補正プレート（ 11 ）に留められることが可能であることを特徴とする

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の固定アセンブリ。

**【請求項 8】**

前記カバーキャップ（ 10 ）が前記ねじ式フランジ（ 7 ）に予め設置されることが可能であることを特徴とする

請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の固定アセンブリ。

**【請求項 9】**

前記カバーキャップ（ 10 ）が、前記ねじ式フランジ（ 7 ）への差し込みのための手段、特に留めラグ、アンダカット等を有することを特徴とする

請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の固定アセンブリ。